

製品名: ARHGAP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07119**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	ARHGAP1
別名	ARHGAP1; CDC42GAP; RHOGAP1; Rho GTPase-activating protein 1; CDC42 GTPase-activating protein; GTPase-activating protein rhoOGAP; Rho-related small GTPase protein activator; Rho-type GTPase-activating protein 1; p50-RhoGAP
遺伝子 ID	392.0
SwissProt ID	Q07960
免疫原	抗血清はヒト RHG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 189-238

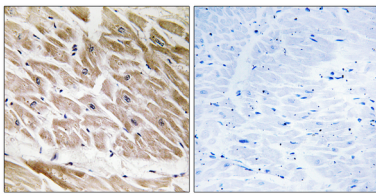
背景

この遺伝子は、Rho 型グアノシン三リン酸 (GTP) 代謝酵素を活性化するタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は SRC ホモロジー 3 ドメインを含み、Bcl-2 関連タンパク質ファミリーのメンバーと相互作用します。[RefSeq 提供、2012 年 8 月],機能: Rho、Rac、Cdc42 タンパク質の GTPase 活性化因子であり、これらのタンパク質を GDP 結合型不活性状態に変換します。Cdc42 が優先基質であると考えられます。類似性: CRAL-TRIO ドメインを 1 つ含みます。類似性: Rho-GAP ドメインを 1 つ含みます。サブユニット: XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、SFN との複合体を形成します。BNIPL と相互作用します。組織特異性: 普遍的。,

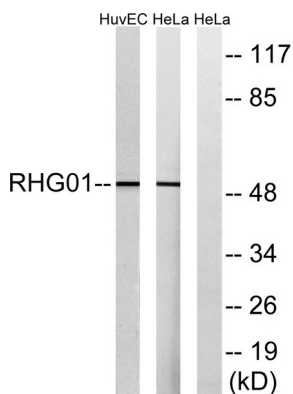
研究分野

-

画像データ



RHG1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



RHG1 抗体を用いた HeLa 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。